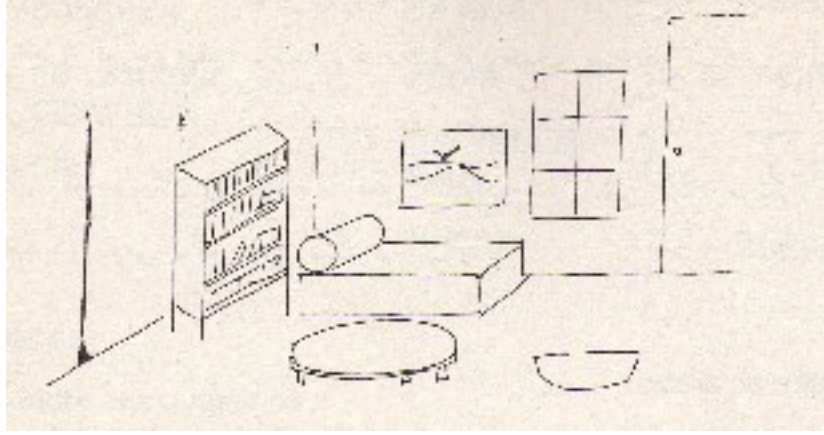
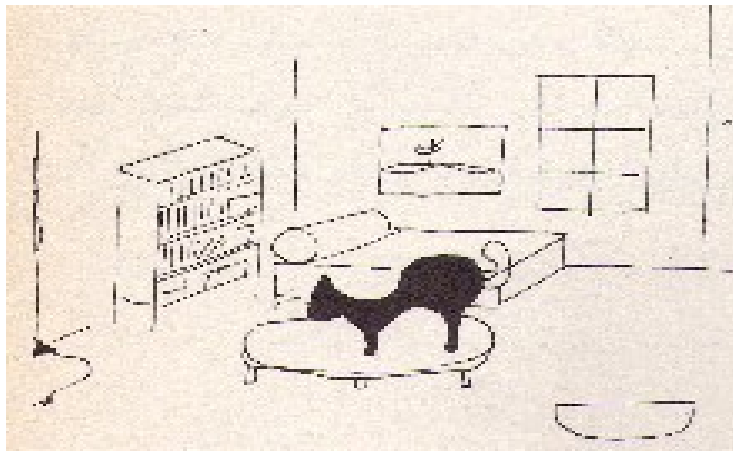


第 16 課 猫と鼠

الدَّرْسُ السَّادِسُ عَشَرَ



فِي حَائِطِ غُرْفَةٍ نَذِيرٍ شَقٌّ ، وَفِي هَذَا الشَّقِّ يَعْيشُ فَارٌ صَغِيرٌ .
الْفَأْرُ يَخَافُ مِنَ الْقِطِّ ، فَلَا يَخْرُجُ مِنَ الْحَائِطِ إِلَّا فِي اللَّيْلِ حِينَ يَنَامُ الْقِطُّ .
أَمَّا فِي النَّهَارِ فَلَا يَخْرُجُ إِلَّا حِينَ يَغِيبُ الْقِطُّ عَنِ الْغُرْفَةِ .
الْيَوْمَ كَمَنَّ الْقِطُّ فِي سَلَّةٍ ، فَحَسِبَ الْفَأْرُ أَنَّهُ غَائِبٌ .
فَخَرَجَ مِنَ الْحَائِطِ ، فَوَثَبَ عَلَيْهِ الْقِطُّ ، لَكِنَّ الْفَأْرَ هَرَبَ فَدَخَلَ الشَّقَّ فَمَا أَكَلَهُ الْقِطُّ .



< 単語 >

عَاشَ	(Ai) 生きる、生活する	غَابَ	(Ai) 不在である
فَأْرُ	鼠	عَنْ	〜から
خَافَ	(Ia) 恐れる	كَمَنَ	(Au) 隠れる
إِلَّا	〜を除き	حَسِبَ	(Ia) 思う
لَيْلَ	夜	أَنَّ	〜ということ
حِينَ	〜する時	غَائِبَ	不在の
نَامَ	(Ia) 眠る	وَتَبَّ	(Ai) 跳ぶ
أَمَّا	〜に関しては	هَرَبَ	(Au) 逃げる
نَهَارَ	昼	أَكَلَ	(Au) 食べる

< 和訳 >

ナジールの部屋の壁には隙間があります。そして、その隙間の中には小さな鼠が住んでいます。

鼠は猫を恐れています。ですから、猫が眠っている夜にしか壁から出てきません。

そして昼の間は、猫が部屋にいない時にしか出てきません。

その日、猫は籠の中に隠れました。そこで鼠は、猫がいないと考えました。

そして壁から出てきました。猫は鼠に跳びかかりました。でも、鼠は逃げて隙間の中に入ったので、猫は鼠を食べられませんでした。

< 文法 >

◆ 1 くぼみ動詞(2)

* 第15課では第2語根が **و** のくぼみ動詞のうち、未完了形の特徴母音として [u] をとる **فَعَلَ** 型くぼみ動詞を学びました。この課では残りの3つの型の活用を学びます。

◆ 2 くぼみ動詞の活用(2)

* 既に第15課で述べたように、第2語根が **ي** のくぼみ動詞には **فَعَلَ** 型と **فَعِلَ** 型があります。この課には前者の例が2つ出ていますが、この型のくぼみ動詞はすべて、未完了形の特徴母音として [i] をとります。

(例1) عَاشَ [Ai] 生きる、生活する [語根は عِيش]

(例2) غَابَ [Ai] 欠席する、不在である [語根は غَيْب]

*では、عَاشَ を例にとり、その単数形の活用をみていきましょう。

< 1 >完了形の活用

①第3語根が母音を持つ人称（＝三人称単数男性形及び三人称単数女性形）では、第2語根の ي は長母音 [a:] を示すアリフに転化します。

(例) 完了形の三人称単数男性形： عَاشَ → عَاشَ

②それ以外の第3語根がスクーンの人称では、第2語根の ي は除去されますが、もともとは第2語根が ي であった痕跡を残すために、第1語根の母音を強制的に [i] に転化させます。

(例) 完了形の二人称単数男性形： عَشْتُ → عَشْتُ

最終形			中間形					理論形				
人称	群	活用形	接尾	第3	第2	第1	接頭	接尾	第3	第2	第1	接頭
三単男	S	عَاشَ		شَ	ا	عَ			شَ	يَ	عَ	
三単女	S	عَاشَتْ	تْ	شَ	ا	عَ		تْ	شَ	يَ	عَ	
二単男	C	عَشْتُ	تْ	شْ	>	عَ		تْ	شْ	يَ	عَ	
二単女	C	عَشْتِ	تِ	شْ	>	عَ		تِ	شْ	يَ	عَ	
一単	C	عَشْتُ	تْ	شْ	>	عَ		تْ	شْ	يَ	عَ	

< 2 >未完了形の活用

③第1語根がスクーンで、かつ第3語根が母音を持つ人称では、第2語根の母音 [i] は第1語根に引き渡され、第2語根は単に長母音 [i:] を示すヤーウに転化します。

(例) 未完了形の三人称単数男性形： يَعِيشُ → يَعِيشُ

最終形			中間形					理論形				
人称	群	活用形	接尾	第3	第2	第1	接頭	接尾	第3	第2	第1	接頭
三単男	S	يَعِيشُ		شُ	يَ	عَ	يَ		شُ	يَ	عَ	يَ
三単女	S	تَعِيشُ		شُ	يَ	عَ	تَ		شُ	يَ	عَ	تَ
二単男	S	تَعِيشُ		شُ	يَ	عَ	تَ		شُ	يَ	عَ	تَ
二単女	L	تَعِيشِينَ	يْنَ	شِ	يَ	عَ	تَ	يْنَ	شِ	يَ	عَ	تَ
一単	S	أَعِيشُ		شُ	يَ	عَ	أَ		شُ	يَ	عَ	أَ

◆ 3 くぼみ動詞の活用(3)

*次に、فَعَلَ 型くぼみ動詞の活用を学びましょう。

*既に第15課で述べたように、فَعَلَ 型くぼみ動詞には第2語根が و のものと ي のものがありますが、فَعَلَ 型の動詞は常に、未完了形の特徴母音として [a] をとります。

(例1) خَافَ [Ia] 怖れる、怖い [語根は خوف]

(例2) نَامَ [Ia] 眠る [語根は نوم]

*では、خَافَ を例にとり、その単数形の活用をみていきましょう。

< 1 >完了形の活用

①第3語根が母音を持つ人称では、第2語根の و は長母音 [a:] を示すアリフに転化します。

(例) 完了形の三人称単数男性形 : خَوَّفَ → خَافَ

②それ以外の第3語根がスクーンの人称では、第2語根の و は除去されますが、もともとは第2語根が و であった痕跡を残すために、第1語根の母音を強制的に [i] に転化させます。

(例) 完了形の二人称単数男性形 : خَوَّفْتَ → خَفْتِ

最終形			中間形					理論形				
人称	群	活用形	接尾	第3	第2	第1	接頭	接尾	第3	第2	第1	接頭
三単男	S	<u>خَافَ</u>		فَا	ا	خَ			فَا	وِ	خَ	
三単女	S	<u>خَافَتْ</u>	تْ	فَا	ا	خَ		تْ	فَا	وِ	خَ	
二単男	C	<u>خَفْتِ</u>	تِ	فَا	>	خِ		تِ	فَا	وِ	خِ	
二単女	C	<u>خَفْتِ</u>	تِ	فَا	>	خِ		تِ	فَا	وِ	خِ	
一単	C	<u>خَفْتِ</u>	تِ	فَا	>	خِ		تِ	فَا	وِ	خِ	

< 2 >未完了形の活用

③第1語根がスクーンで、かつ第3語根が母音を持つ人称では、第2語根の母音 [a] は第1語根に引き渡され、第2語根は長母音 [a:] を示すアリフに転化します。

(例) 未完了形の三人称単数男性形 : يَخَافُ → يَخَافُ

最終形			中間形					理論形				
人称	群	活用形	接尾	第3	第2	第1	接頭	接尾	第3	第2	第1	接頭
三単男	S	<u>يَخَافُ</u>		فَا	ا	خَ	يَ		فَا	وَا	خَ	يَ

三単女	S	تَخَافُ		فُ	ا	خَ	تَ		فُ	وَ	خُ	تَ
二単男	S	تَخَافُ		فُ	ا	خَ	تَ		فُ	وَ	خُ	تَ
二単女	L	تَخَافِينَ	يْنَ	فِ	ا	خَ	تَ	يْنَ	فِ	وَ	خُ	تَ
一単	S	أَخَافُ		فُ	ا	خَ	أَ		فُ	وَ	خُ	أَ

*なお、この課に出ているのは第2語根が **و** の **فَعَلَ** 型くぼみ動詞だけですが、少数ながら、第2語根が **ي** の **فَعَلَ** 型くぼみ動詞もあります。

(例) **هَابَ** [Ia] 畏怖する、畏れる [語根は **هيب**]

*ただし、第2語根が **و** であれ **ي** であれ、活用の型としては全く同一なので、活用表は省略します。

◆ 4 くぼみ動詞活用のまとめ

*第15課と第16課で、4つのくぼみ動詞の活用の型を学びました。まとめると、以下のようになります。

第2語根		一般式	完3単男	完2単男	特母	未3単男
و	A	فَعَلَ	سَاقَ	سُقَّتَ	u	يَسُوقُ
	I	فَعَلَ	خَافَ	خَفَّتَ	a	يَخَافُ
ي	A	فَعَلَ	عَاشَ	عَشَّتَ	i	يَعِيشُ
	I	فَعَلَ	هَابَ	هَبَّتَ	a	يَهَابُ

◆ 5 従位接続詞 **أَنَّ**

*この語は名詞節を導く従位接続詞で、強制対格語です。「話す」「語る」「断言する」「思う」「信じる」「仮定する」「知る」「主張する」などの意味を表す動詞の後に用いられます。

(例) **فَحَسِبَ الْفَأْرُ أَنَّهُ غَائِبٌ** そこでネズミは猫がいないと思いました。

◆ 6 **فَعَلَ** 型の動詞の例外

*先ほど「**فَعَلَ** 型の動詞は常に、未完了形の特徴母音として [a] をとります」と述べましたが、一つだけ例外があります。上の例文で用いられている規則動詞 **حَسِبَ** [Ii] (思う、

考える) がまさにその例外にあたります。この動詞だけは、完了形の第2語根の母音が [i] であるにもかかわらず、未完了形の特徴母音として例外的に [i] をとります¹。

*なお、語根 **حَسَبَ** には他に **فَعَلَ** 型の動詞 **حَسَبَ** [Au] (数える、計算する) がありますが、この動詞の場合は未完了形の特徴母音として [u] をとります。

◆ 7 能動分詞(5)

*この課には、くぼみ動詞の能動分詞 **غَائِبٌ** (不在の) が出ていますが、この語は動詞 **غَابَ** [Yi] (不在である、欠席する) から派生したものです。既に第15課で学んだように、くぼみ動詞の能動分詞は第2語根がハムザに変わります。なお、次の2語は、能動分詞の名詞用法の例です。

(例1) **سَاقٌ** [Wu] 運転する → **سَائِقٌ** 常習的に運転する人 → 運転手

(例2) **طَارَ** [Yi] 飛ぶ → **طَائِرٌ** 常習的に飛ぶもの → 鳥、小鳥

◆ 8 等位接続詞 **فَ**

*この接続詞は原則的に、原因と結果の関係にある2つの文を結びます。

(例) **كَمَنَّ الْقِطُّ فِي سَلَّةٍ فَحَسِبَ الْفَأْرُ أَنَّهُ غَائِبٌ**

ネズミは籠の中に隠れました。そこでネズミは猫がいなかったと考えました。

*一般的にアラブ人は句点(ピリオド)で文を切るよりも、**وَ** や **فَ** の等位接続詞で文を続けることを好みます。この課の最後の数文を見れば、そのことがよくわかるでしょう。

*また、接続詞 **أَمْ** (〜に関して言えば) で始まる文では、応答文は必ず **فَ** で受けなければなりません。ただし、この場合、**فَ** は強いて訳出するには及びません。

(例) **أَمْ الْفَأْرُ فَيَعِيشُ فِي شَقٍّ** ネズミは [たとえば] 隙間に住んでいます。

◆ 9 語頭ハムザ動詞

*既に私たちは第11課で **سَأَلَ** [Aa] (尋ねる) と **قَرَأَ** [Aa] (読む) という二つのハムザ動詞を学びました。この課には第1語根がハムザの、語頭ハムザ動詞 **أَكَلَ** [Au] (食べる) が出ています。

(例) **لَكِنَّ الْفَأْرَ هَرَبَ فَدَخَلَ الشَّقَّ فَمَا أَكَلَهُ الْقِطُّ**

しかしネズミは逃げて穴に入ったので、猫はネズミを食べられませんでした。

*語頭ハムザ動詞の活用に関して特に変わった点はありませんが、未完了形の一人称単数形では、活用接頭辞のアリフと第1語根のアリフが連続するため、両者が合体してマッダ

1 なお、語根 **حَسَبَ** には他に **فَعَلَ** 型の動詞 **حَسَبَ** [Au] (数える、計算する) がありますが、この動詞の場合は未完了形の特徴母音として [u] をとります。

記号 (ī) に変わることに注意してください。

(例) 私は食べる : أَكُلُ [理論形] → أَكَلُ

<練習>

[1] 次の質問に答えなさい。

- | | |
|--|---------------------------------------|
| (1) مَا فِي حَائِطِ غُرْفَةِ نَذِيرٍ ؟ | (2) مَا يَعْيشُ فِي الشَّقِّ ؟ |
| (3) مَتَى يَخْرُجُ الْفَأْرُ مِنَ الْحَائِطِ ؟ | (4) لِمَاذَا يَخْرُجُ فِي اللَّيْلِ ؟ |
| (5) هَلْ يَخْرُجُ فِي النَّهَارِ ؟ | (6) مَتَى يَخْرُجُ فِي النَّهَارِ ؟ |
| (7) أَيَّنَ كَمَنَّ الْقِطُّ الْيَوْمَ ؟ | (8) مَاذَا حَسِبَ الْفَأْرُ ؟ |
| (9) مَاذَا فَعَلَ الْفَأْرُ ؟ | (10) مَاذَا فَعَلَ الْقِطُّ ؟ |
| (11) هَلْ أَكَلَ الْقِطُّ الْفَأْرَ ؟ | (12) إِلَى أَيَّنَ هَرَبَ الْفَأْرُ ؟ |

[2] 動詞 عَاشَ と غَابَ を、それぞれ完了形と未完了形の単数形に活用させなさい。

	عَاشَ		غَابَ	
	完了形	未完了形	完了形	未完了形
三単男				
三単女				
二単男				
二単女				
一単				

[3] 動詞 خَافَ と نَامَ を、それぞれ完了形と未完了形の単数形に活用させなさい。

	خَافَ		نَامَ	
	完了形	未完了形	完了形	未完了形
三単男				
三単女				
二単男				

二単女				
一単				

[4] 次の文に母音符号をつけ、日本語に訳しなさい。

- (1) ما دخلت الدار لأنني خفت من الكلب . (2) القط يأكل الفأر .
(3) أنت تنامين في فراشك . (4) أما القط فينام في السلة .
(5) القط يهرب من الكلب . (6) الكلب يكمن تحت الفراش .
(7) هذا الطائر لا يعيش في قفص . (8) أمس غبت عن المدرسة لأنني كنت مريضا .
(9) قد هرب الطائر من قفصه . (10) الكلب لا يخاف من القط .
(11) الكلب لا يأكل الفأر .

[5] 次の文に母音符号をつけ、日本語に訳しなさい。

- (1) زينب خافت من الفأر . (2) يا أحمد هل نمت في فراشك ؟
(3) أنت لا تخافين من الكلب . (4) الولد لا يخاف من البقرة .
(5) يحسب الجنان أنه ليس في حاجة إلى مساعد لأن بستانه صغير . (6) الكلب يثب على القط .
(7) لا يذهب التلميذ إلى المدرسة في الليل . (8) المعلم لا ينام في حجرة الدرس .
(9) حسبت أن هذه السيارة لك . (10) أنا عشت في هذه الدار حين كنت صغيرا .

[6] 次の文をアラビア語に訳しなさい。

- (1) そのロバはその犬を恐れませんが。
(2) なぜあなたは床の上で寝たのですか？
(3) 昨日ナジールは学校を欠席しました。
(4) この子供は私の家の中で暮らすでしょう。
(5) ザイナブはその雌猫は彼女の部屋の中にいると思っています。
(6) その猫はその鳥に跳びかかりました。でもその鳥は逃げました。
(7) この男性は健康です。でも彼は自分が病気だと思っています。
(8) その猫はその木の上にあります。その鳥はと言えば、逃げました。
(9) その鼠はその猫の牛乳を飲みました。それから去りました [=行きました] 。